

第28回(平成23年度)助成者一覧表

1・研究助成

| 部門 | 研究者 | 研究テーマ・等 |
|-------|--|--|
| 工 | 本田善央 (名古屋大学 工学研究科 電子工学専攻 助教) | *結晶成長工学、半導体工学、量子工学 *Si基板上半極性GaNへ成長した歪InGaN層からの発光偏光特性の解析と青色～緑色レーザー応用 |
| | 北川 亘 (名古屋工業大学 助教) | *電力工学・電気機器工学 *リラクタンストルクを用いた多自由度電磁アクチュエータの設計及び開発に関する研究 |
| | 小西たつ美 (愛知工業大学 工学部 電気学科 准教授) | *無線通信工学 *マルチセルMIMO協調通信技術の検討 |
| 学 | 松河剛司 (愛知工業大学 情報科学部 情報科学科 講師) | *人間工学 *生体情報の3DCGによる可視化と人間工学への応用 |
| | 安藤貴文 (名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器内科学 准教授) | *医学 *寛解期潰瘍性大腸炎患者の拡大内視鏡所見と腸管粘膜免疫ならびに再燃との関連 |
| 医 | 片岡卓也 (愛知医科大学 眼科学教室 講師) | *眼科学における緑内障レーザー治療 *冷却レーザーイリドミー法による術後炎症の軽減および角膜上皮細胞保護 |
| | 安達貴教 (名古屋大学大学院 経済学研究科 社会経済システム専攻 准教授) | *応用マイクロ経済学、産業組織論 *不完全競争下における価格戦略:理論的分析を中心として |
| 法学・経済 | 松中 学 (名古屋大学大学院 法学研究科 准教授) | *会社法、金融商品取引法、法の経済分析 *証券取引所による法ルールの形成—なぜ証券取引所が「会社法」を作るのか |
| | 井上知子 (南山大学 経済学部 准教授) | *環境経済学、経済成長理論 *高齢化社会における環境政策と社会保障政策のポリシーミックスに関する研究 |
| | 李 春利 (愛知大学 経済学部 大学院中国研究科) | *経済学、経営学 *製品アーキテクチャの視点から見た新興国における次世代自動車の現状と行方 —中国の事例を中心に— |
| | 田中清久 (愛知大学 法学部 助教) | *国際法(学)(その中でも特に「国際裁判法」、「国際紛争解決法」および「国際司法裁判所論」) *国際司法裁判所に関する研究 — 国際裁判法の新たな方法論からのアプローチ — |
| 芸術 | 初山陽子 (愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科 博士後期課程) | *音楽学(西洋音楽史、イギリス音楽、演奏習慣)英語学(英語史、音韻論)、言語学(社会言語学) *中世から近代にかけてのイギリス声楽作品のディクション(発音法)の推定 |
| 計 | 12名 | |

2. 海外助成

| 部門 | 研究者 | 研究テーマ・等 |
|------------------------------------|--|---|
| 工 学 | 一野祐亮 (名古屋大学 エコトピア科学研究所 准教授) | *Optimization of composition in YBCO thin films by means of combinatorial Nd:YAG-PLD method *オランダで開催される European Conference on Applied Superconductivity 2011に参加し、酸化物超伝導薄膜に関する研究成果の発表および酸化物超伝導線材や超伝導デバイスなどの応用超伝導に関する研究・開発の最新情報の収集を行う |
| | 小島寛樹 (名古屋大学 エコトピア科学研究所 准教授) | *真空中の絶縁物沿面における放電の発生・進展に関する研究 *中国 西安で開催される2011 第1回電力機器・開閉技術に関する国際会議に参加し研究成果の発表を行う |
| | 守屋耕一 (名古屋大学大学院 工学研究科 エネルギー理工学 専攻博士課程) | *炭素同位体を利用した森林土壌の有機物分解性の定量化に関する研究 *アメリカ地球物理学連合会議2011に参加し、炭素同位体の利用による森林土壌の有機物分解性の定量化に関する研究成果を発表すると共に、この研究分野における最新の研究手法や成果に関する情報収集、情報交換を行う |
| | 柳谷隆彦 (名古屋工業大学 機械工学科 計測物理系プログラム 助教) | *超音波薄膜共振子を用いた質量分析センサ *アメリカで開催されるIEEE (米国電気電子学会)主催の超音波に関する国際会議に参加、本会議において超音波に関するセンサ技術、薄膜技術や計測技術に関する計6件の研究成果を発表するとともに超音波を使ったセンサに関する国際動向の調査・資料収集・情報交換を行う |
| | 前橋 亘 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 博士後期課程 情報工学専攻) | *フィードフォワード外乱補償によるロボタ高速高精度位置決め *オーストラリア メルボルンで開催される国際会議(the 37 th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society)に参加し、対象機器の機構系に内在する非線形摩擦に対する精密モデリングと補償に関する研究成果を発表するとともに関連する研究動向を調査する |
| | 鈴木雅視 (名古屋工業大学 機能工学専攻 博士後期課程) | *c軸平行極性反転AIN多層膜共振子 *アメリカ フロリダで開催される国際会議 IEEE International Ultrasonics Symposium2011に参加し、薄膜共振子に関する発表を2件行う また海外研究者の研究発表や議論を通じて研究のさらなる発展につながる情報を得る |
| | 江上泰広 (愛知工業大学 工学部 機械学科 准教授) | *感圧塗料(PSP)を用いた光学的な圧力計測において、模型材料の種類及び感圧塗料の塗装の方法が風洞試験中の模型表面温度の変化に及ぼす影響を調査し、感圧塗料の温度誤差を最小にする方法を提案する *アメリカ航空宇宙学会主催の「第28回 航空力学測定技術及び地上風洞試験に関する会議」に出席し研究発表を行う また最新の研究動向を調査をする |
| | 武田亘平 (愛知工業大学大学院 工学研究科 生産・建設工学専攻 博士後期課程 愛知工業大学 工学部 機械学科 助手) | *形状記憶合金の変形特性とアクチュエータへの応用 *中国 香港で開催される2011年形状記憶と超弾性技術に関する国際学会に参加し、研究成果の発表を行う |
| | 村本裕二 (名城大学 理工学部 准教授) | *エタノール発酵に及ぼす直流電圧印加の影響 *メキシコ合衆国 カンクンで開催される会議に参加し研究成果の発表をするとともに、誘電、絶縁材料およびBiodielectricsに関する最新の情報収集を行い、研究者たちとの交流を深め、意見交換を通じ国内外の新しい知見を得て、今後の研究の参考とする |
| | 平田 豊 (中部大学 工学部 情報工学科 教授) | *Monocularity and eye position specificity in the oculomotor neural integrator *アメリカ ワシントンで開催されるAnnual Meeting Society for Neuroscience に参加し、研究発表をするとともに、同分野の最新動向を把握し、研究者との交流をはかる |
| | 脇田健裕 (中部大学 工学部 建築学科 助教) | *伝統木造建築物の耐震性能評価と健全な保存方法に関する研究 *インドネシア ジョグジャカルタで開催されるインドネシア木質構造国際シンポジウムにおいて研究成果を発表するとともに、情報収集および意見交換を行い、さらにジョグジャカルタ周辺にある伝統木質構造を対象とした、構築方法と耐震性能についての構造調査を実施する |
| | 杉岡由基 (豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 電気・電子情報工学専攻) | *螺旋形状を呈したナノカーボン材料を用いた電界電子放出素子の開発 カーボン材料に金属コーティングし、フィラメント放電処理したときの起毛状態と電流電圧特性の比較 * アメリカ合衆国ソルトレイクシティで開催される“Plasma applications”のセッションに参加し、幅広く意見を取り入れフィラメント放電処理によるカーボン材料の挙動に与えた実験条件と結果の関係性を明らかにする |
| 吉岡博貴 (愛知県立大学 情報科学部 地域情報科学科 准教授) | *地球観測衛星による陸域観測データの相対校正に関する研究 *ドイツ ミュンヘンで開催されるIEEE Geoscience and Remote Sensing Society 主催の国際会議に参加し、研究成果を発表するとともに海外の研究者との交流を通して当該分野における最新の情報を収集する | |

| 部門 | 研究者 | 研究テーマ・等 |
|-------|--|---|
| 医学 | 上山 純 (名古屋大学医学部 保健学科 准教授) | *日本人における尿中殺虫剤代謝物レベル基本特性の包括的理解 *英国エディンバラで開催されるBritish Occupational Hygiene Society (英国労働衛生学会)で研究発表および意見交換することで農薬等化学物質の予測的および実験的毒性評価法、化学物質のリスクマネジメントの基礎の習得と最新の知見を収集し、当該研究の方向性および研究内容の発展性を明確化させる |
| | 北村 浩 (名古屋市立大学大学院 医学研究科 病態医科学講座 病態モデル医学分野 准助教) | *Evaluation of Roles of Macrophage-Modulator(M-mod) in Adiposity and Diabetes Using Genetically Modified Mice *フランスで開催されるthe EMBO meetingにてマイクロファージの新たな機能分子M-modの解析データを発表・議論するとともに、エピジェネティクス研究の裾野が広く、また米国と並び2型糖尿病研究が盛んな地域で新たな共同研究先と今後の研究の足がかりを得る |
| | 小笠原 尚高 (愛知医科大学 消化器内科 講師) | *消化器癌細胞増殖機構における転写制御因子の機能解析・消化器系腫瘍における細胞形質発現の解析炎症性腸疾患の遺伝子的解析 *スウェーデン ストックホルムで開催される第19回欧州消化器病週間(UEGW2011)に出席しポスターセッションにてファーストオーサとして口演発表する |
| | 椎野 憲二 (藤田保健衛生大学 社会人大学院) | *心筋の拡張障害や収縮障害の重要な指標であるストレインについて *オーストラリア シドニーで開催されるエコーオーストラリア2011に参加し心臓超音波の最新の知見・測定テクニックについて学ぶ |
| 法学・経済 | 胡 丹 (名古屋大学 経済学研究科 准教授) | *アメリカにおける会計基準の国際的統一化 *アメリカ シカゴ大学、ブース経営大学院で、アメリカではまだ時間的にあまり浸透していない会計基準の国際的統一化について、取り組む足掛かりができることを目的とする |
| | 水島朋則 (名古屋大学 法政国際教育協力研究センター 教授) | *日本の主権免除法(外国等に対する我が国の民事裁判権に関する法律)についての研究 *アメリカ カリフォルニア大学バークレー校に渡航し同国で開かれる日・米・加・豪/NZの国際法学会4学会国際会議の第4回大会に第3回大会の報告者として参加し、第4大会(第3回大会のフォローアップ及び総まとめの大会)を見聞することにより有意義なものとする |
| 計 | 19名 | |